



桃源郷プロジェクト構想から5年

林明代さん急逝す



桃源郷プロジェクトの実質的リーダーであり会員の精神的支柱であった林明代さんが10月1日朝大動脈解離からの破裂によりお亡くなりになりました。

一瞬の出来事だったようで安らかな死に顔でした。享年75歳。

あまりにも突然のことで、運営委員一同まだ悲しみと動揺の中にいます。

それでも来年3月に予定されているハナモモ育樹祭に向けて

気持ちを強く持って着実に歩みを進めなくてははいけません。

皆様どうかお力を貸して下さい。

会報 Tomorrow は寺島代表やプロジェクトリーダー糟谷が主に文章を担当し林さんが編集作業を担当していました。

ですが今号の裏面は林さんが文章も編集もすべて作成しています。

座談会の形をとっていながら、ここには林さんの思いがあふれています。

林さんは亡くなる前日、9月30日の夜11時に表裏とも完成させて

あとは印刷やメール送信をするだけの状態でありました。

裏面は右下のお別れ会のお知らせ部分以外は

最後に編集を仕上げた、そのままの紙面をご覧ください。

裏面の記事は林明代さん最期の編集です

どうする？「ハナモモの会」の今後

9月18日開催

運営委員座談会



運営委員 6 人でのメールでのやり取りは頻繁に行い、情報共有はしてきたものの顔合わせは久々。「げんきだった？」の声から始まった座談会でした。

メインテーマは、高齢化が進むハナモモの会をどう運営するか。若い世代に関心を持ってもらうにはどうしたらよいか。

知恵を出し合えば前向きな活動が出来る筈と、ざっくばらんに意見を出し合い、模索をしました。

★この5年間、色々やってきました。それなりの成果もあげてきたこれまでの活動は、流れ的にも間違っていないかと思えますよ。ただ、体力仕事は会員の力だけで行うのは難しくなっているのは事実ですね。

★体力が無くなった会員が息切れをして活動の継続が難しくなるより「花咲か基金」を使うことで活動が楽になれば、と造園屋さんに木質チップの敷き込み作業をお願いしました。基金は皆さんから頂いた貴重なお金ですが、使いみちとして良かったのではないかと思います。

★最近、サポーターさんの参加者が固定化されてきているのが気がかりです。理由は何でしょう？
遅刻早退自由の気楽な活動ですし、ティータイムではお喋りに花が咲きます。自然相手の楽しいひと時なんですけどね。

★コロナの心配が無くなれば、高森台中学の北側にある養楽福社会の施設群で、来年 3 月に「育樹祭」を行う方向です。イベントは外に向けたアピールの場としても大切。来年こそ開催したいですね。

★育樹祭に隣の高森台中学や春日丘高校、さらに中部大学の学生さんたちに声をかけて見に来ていただきたいですね。そして当会に関心を持ってもらえるのですが…。

★植物園の職員の方や、中学・高校の花壇クラブと繋がりを持ったり…とか。様々なイベントを打つことで、サポーターさんや会員の拡大につなげるというのは、どうでしょう？

★ハナモモを植えている地域はあちこちにあります。「桃源郷サミット」を開くとか、あるいは樹木医さんから樹の話をしていただくセミナーなども考えられます。

★来年の育樹祭で、県有地内での植栽は一応終了になります。ここで植栽は一区切りとして、今後はハナモモを増やすのではなく、ハナモモの成長を見守り、より良い花を咲かせる保守管理に徹するというのもありかもしれません。

★今年度から春日井市は「緑の基本計画」の実施期間に入ります。計画によれば市民参画が重要な課題に位置づけられています。コロナ禍が一段落したら市の関係部署へ出向いて、当会のこれからの活動内容を説明して、実現できるよう積極的にかかわっていきたいと思います。

※「春日井市 緑の基本計画」は、春日井市が都市緑地法に基づく都市における緑のマスタープラン。2021年～2031年までに行う、緑のまちづくりの基本施策や、緑化推進に向けたプロジェクトを提示したものです。



第1回育樹祭で植栽した「どんぐりの森」北側斜面のハナモモはこんなに綺麗に咲くようになりました。(2021年撮影)

お知らせ

林さんのお別れ会を開きます

日時 10月30日(土)10:00~12:00

場所 どんぐりの森外周道路に面した北斜面の上

当初はこの日に茶話会を計画していましたがささやかなお別れ会に変更いたします。会員に限らずどちら様もご参加いただけます。